

※記入例

記入スペースが不足する場合は、適宜追加の上、記入して下さい。ページ数が増加しても構いません。

【2023 ビームライン共同利用研究】

2023 年度生体超分子複合体構造解析ビームライン（大阪大学蛋白質研究所）
共同利用研究課題申請書 兼 共同研究員承諾書

実験責任者（印または署名） （ふりがな） はんだい たろう 氏 名 阪大 太郎		申請日 2022 年 11 月 1 日			
所属・職名 〇〇大学大学院〇〇学研究科 ・ 准教授		旅費の支給を 希望しない			
連絡先住所 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-2 〇〇棟 〇〇室					
Tel. 06-6879-4323		Fax. 06-6879-8590	E-mail tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp		
実験課題名 〇〇における〇〇〇の解明		文部科学省への評価調書等提出時に、共同研究員の「若手研究者数」「性別研究者数」を報告する必要があるため、本欄を設けています。本欄の記入内容が採否に影響することはありません。なお、記入内容は個人情報として取り扱いに十分留意いたします。			
(英 訳) 〇〇〇〇〇〇〇〇					
実験 組 織	氏 名（ふりがなを ローマ字で）	年齢・性別	所属（大学・学部・学科）	職名（学年）	Fax 番号または電子メールアドレス
	（実験責任者を含めて記入） 〇〇 〇〇 (Handai Taro)	48・男	〇〇大学大学院・〇〇学研究科	准教授	Tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp
	△△ △△ (Osaka Hanako)	38・女	△△研究センター・ △△△グループ	主任研究員	aaabbbcccc@aaa.bbb-u.ac.jp
	◎◎ ◎◎ (Suita Kazuo)	22・男	〇〇大学・〇〇学部	B4(予定)	dddeeefff@ddd.eee.fff-u.ac.jp
研究の意義・目的・特色・期待される成果および研究の準備状況（本ビームラインを必要とする理由） ＊（ ）継続課題の場合には、左の欄内にチェックを入れ、進捗状況も記載してください 自由に記載して下さい また、継続課題の場合には、進捗状況も記載してください 2023 年 4 月 1 日現在の年齢 学部学生を加えることができます。希望される場合は、学部学生への旅費支給も可能です。 年度を越えての期間設定はできません。（終了は必ず 2024.3.31） 年度途中申請の場合は、研究を開始できる年月日～または承認日～として下さい。					
試料名、安全性に対する記述・対策 適宜記載して下さい。			希望ビームタイム（希望 希望時間） 適宜記載して下さい。		
当機関に所属する上記実験責任者が、2023 年 4 月 1 日～ 2024 年 3 月 31 日までの間、大阪大学蛋白質研究所共同研究員になることを承諾します。 所属長・職名・氏名 〇〇大学大学院〇〇学研究科長・●●●●●● 職 印 必ず所属長の「職印」を押印して下さい。 （所属長とは、総長、センター長、研究科長等をさします。）					